



英国教育体験プログラム

UCL-Japan Youth Challenge 2023

参加校募集要項

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（University College London、UCL）という大学をご存知でしょうか。UCL は世界の大学ランキングでトップ 10 に入る英国ロンドン中心地の文教地区 Bloomsbury（ブルームズベリー）にある 1826 年に設立された大学で、日本と非常に素晴らしい歴史的な繋がりを持っています。例えば、初代内閣総理大臣伊藤博文、初代外務大臣井上馨、初代文部大臣森有礼、五代友厚、夏目漱石、最近では小泉純一郎元首相が UCL へ留学しています。

我々は次世代の世界的なリーダーを育成することを大きな目的とした、

「UCL-Japan Youth Challenge」を 2015 年度から始めました。このプログラムは、日英の優秀な高校生に参加していただくサマースクールです。期間中は、世界をリードする大学である UCL の教授陣による多彩な講義やワークショップ、世界の大きな共通課題について、その分野の専門家・研究者等と意見を交換し、知識と経験を深めるための「UCL Grand Challenge Workshop」、世界で活躍する日本人との対話イベント、語学研修、ロンドン市内研修など様々なイベントを行います。更に、世界的に有名なケンブリッジ大学（University of Cambridge）での研修や講義、英国の高校生との文化交流も行います。英国を代表する有名校からの生徒も多数参加します。期間中は UCL とケンブリッジ大学の宿舎に滞在し、世界をリードする大学で学ぶことを体感していただきます。

このプログラムを通じて、日本そして世界の将来を担う次世代の高校生が世界の問題に向き合い、世界を先導する最先端の研究を行う研究者等と交流し知見を深め、160 年程前に UCL へ留学した日本人のように将来グローバルに活躍する人材として育つ契機になることを期待しています。実際、毎年の参加者の約 1 割の日本の高校生が UCL、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学などの英国やアメリカの有名大学に進学しています。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響により、2020年から2022年までの過去3年間はオンライン開催し、日英の高校生をバーチャルに繋ぎ、国際的な渡航規制がある中、国際交流と英国の大学様式の国際的な学びの場を提供しました。

2023年度のプログラムは4年ぶりに英国現地開催の形式に戻し、2023年7月21日（金）から7月30日（日）までの10日間開催します。

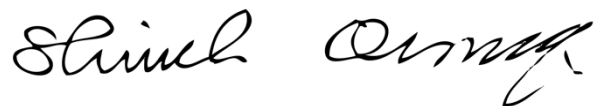
プログラムの詳細は本活動のウェブサイト（www.ucl-japan-youth-challenge.com）を参考にしてください。

このサマースクールは英国の大学で研究や勉強をしている多くの日本人の協力の元、日英の政府機関、団体、企業のサポートを受け、国際交流基金との共催で行われています。

2023年の夏に、皆様とエキサイティングな時間を過ごすことを楽しみにしています。

敬具

主催：UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会



Professor Shin-ichi Ohnuma, PhD 大沼 信一

Deputy Director - International
Professor, Chair in Experimental Ophthalmology
UCL Institute of Ophthalmology
UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会代表

11-43 Bath Street, London EC1V 9EL United Kingdom
Email: s.ohnuma@ucl.ac.uk

概要

英国教育プログラム「UCL-Japan Youth Challenge」は、今後の日本の将来を担う若い優秀な高校生が、10日間英国に滞在し、英国の高校生と共に、世界をリードする大学であるUCLやケンブリッジ大学において、最先端の教育や研究を体験していただき、彼らの将来の選択肢の中に世界という視点を加えることを目的にしています。

期間中は日英の高校生が、世界が抱えている大きな問題点について討論を行うUCL Grand Challenge Workshopに参加し、その内容を一般公開のシンポジウムに参加し発表を行う機会や、世界をリードする大学の先生の講義も多数あります。また、アイスブレーキングセッション、文化交流、スポーツイベントの機会など、英国の高校生との交流も積極的に行います（下記プログラム内容参照）。

また、期間中はUCLやケンブリッジ大学の宿舎に滞在し、身をもって世界をリードする英国の大学生活を経験してもらいます。本プログラムを通して、参加者が将来国際社会のリーダーとなる契機を与えられれば幸いです。

過去のプログラムの詳細はウェブサイト（www.ucl-japan-youth-challenge.com）を参考にしてください。

プログラム日程

2023年7月21日（金）—2023年7月30日（日）

- 日本出発：2023年7月21日（金）
- 英国ロンドン・ヒースロー空港着：同日2023年7月21日（金）
- 英国ロンドン・ヒースロー空港発：2023年7月30日（日）
- 日本到着：2023年7月31日（月）

開催場所

英国

- ウェストサセックス：英国立教学院
- ケンブリッジ：ケンブリッジ大学
- ロンドン：UCL

宿舎

- 高校生、引率者共にUCL（ロンドン大学）、ケンブリッジ大学の学生寮に宿泊
- 9泊10日
- 基本的に宿舎は男女混合、寝室は個室または男女別

- 英国の大学は共学のため、男女別の宿舎・階・共有部分の提供はできかねます
- 諸般の事情により、学生寮ではなくホテル等の民間宿泊施設となる可能性があります

募集校数

概ね 17 校

- 参加者 50 名+引率者 20 名まで
- 各校 3 名の参加者+引率者 1 名が目安となります
- 参加者数に関わらず引率者 1 名は必須となりますが、学校長の判断によっては教員以外にも、保護者や他校の教員に依頼いただくことも可能です
- 英国の 10 校以上の高等学校から同等数の生徒が参加予定

応募資格

次の 3 つの要件を満たす高等学校：

1. 2023 年度時点の高校 1・2・3 年生、または中等教育学校や中学高等学校などの中高一貫教育を行う学校の後期課程に相当する学年の生徒を推薦できること
2. 英検 2 級以上保持者、またはそれと同等の英語力を持つ者を推薦できること
3. 新型コロナウイルス感染症対策等において、英国イングランドの法律と習慣に準拠したプログラム内容にご賛同いただける参加者とその保護者、引率者を推薦できること（9 ページ目の安全対策の項を参照のこと）

選考基準

参加校確定後、参加者の選考は基本的に各参加校の先生方にお任せいたしますが、下記を選考基準の参考としてください：

1. 将来的に海外留学や国際的な職業に興味があること
2. 積極性、協調性、チャレンジ精神があること
3. 国際交流に興味があり、世界へ発信しようとする意欲をもちあわせていること

参加費

- 生徒・引率者一人あたり£3,000程度を想定していますが、英国の物価上昇等により変動する可能性があります（未確定）
- 参加校確定後、参加費が確定し次第ご案内します

参加費に含まれるもの

- 宿泊費
- 食費（自由時間中含まない）
- 現地交通費（自由時間中含まない）

なお、期間中の各種イベント経費等の研修費は各種支援者からの寄付により成り立っており、参加者にはご負担いたしません。

参加費に含まれないもの

上記以外全て

例（これに限定されません）：日本国内交通費、日本国内宿泊費（該当する場合）、往復航空券・航空保険料・燃油サーチャージ、日本・現地空港諸税、超過手荷物料金、自由時間中の食費・交通費、任意参加アクティビティー費用、パスポートやビザ（該当する場合）の申請・取得費用、海外旅行保険料

参加者への特典

1. 奨学金制度
本プログラムへ参加し、更に UCL Foundation Course（Undergraduate Preparatory Certificate）への進学者の内、成績優秀者に奨学金（Studentship）を給付します。
2. UCL-Japan Youth Challenge からの推薦状発行
優秀な参加者には UCL-Japan Youth Challenge より UCL 大学入試の際、推薦状を発行します。
3. メンター制度
本プログラム参加後に UCL Foundation Course（Undergraduate Preparatory Certificate）や UCL の大学学部（Undergraduate Course）へ進学した学生には在英日本人教官による年 4 回程アドバイスを受けられるメンター制度を活用できます。

応募方法

参加申し込みは個人でなく学校単位での申し込みとなります。2023年1月31日（火）までに下記応募様式にてメールを1通お送りください。

【応募様式】

宛先：ujyc@japanatuk.com

CC： s.ohnuma@ucl.ac.uk

題名：UCL-Japan Youth Challenge 2023 参加申し込み

本文：

[高等学校]

学校名：

所在地：

電話番号：

ウェブサイト：

[担当者]

氏名：

電話番号：

メールアドレス：

参加校の選考

参加校の選考は UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会が、様々な指標を元に公正に行います。全国から広く参加していただければと考えています。参加校の決定は2023年2月末に行う予定です。決定し次第、各担当者にメールにて連絡します。

参加生徒の選考

参加生徒は新入生が入学した2023年4月以降に参加校内で選考・決定していただきます。また、その際に高等学校での国際化等への取り組みについてA4用紙1枚にまとめたものを提出いただきます。

参加費納入

当プログラムへの参加が決定した方は、2023年5月31日（水）までに参加費の納入をお願いいたします。参加費・納入方法等の詳細は、参加決定後にご案内申し上げます。

備考

- 応募書類は一切返還できません。
- プログラムの日程や内容、会場などは変更になる場合もございます。
- 原則キャンセルは認められません。プログラムへの参加決定後にキャンセルされ、参加費をお支払い済みの場合、参加費の返金は一切ありません。
- 申込書記載の個人情報は、UCLとUCL-Japan Youth Challenge 実行委員会事務局 JAPAN AT UK LIMITED 間で共有されます。また、本イベント中の活動に関し、撮影・録音された参加者と引率者の写真・動画・音声・著作物は、印刷物、インターネットなどあらゆる媒体において本プログラムの目的の範囲内で、自由に無料で使用されますが、別目的で使用することはありません。
- 参加希望者が最少催行人数 30 人に満たない場合は本プログラムの実施を中止させていただく場合がございます。各高校での参加高校生の選考状況を元に、参加費の支払い前に判断します。中止となった場合、UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会事務局 JAPAN AT UK LIMITED から参加校にメール連絡いたします。

主催

UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会

共催

UCL (University College London) 、国際交流基金 (Japan Foundation)

協賛・後援

グレイトブリテン・ササカワ財団、一般財団法人日英機構、立教英国学院、一般財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所 (CLAIR) 、在英日本国大使館、日本学術振興会、他多数 (過去の実績)

UCL-Japan Youth Challenge 実行委員会事務局

JAPAN AT UK LIMITED

所在地：8 Station Parade, Uxbridge Road, London W5 3LD UK

Tel：+44 (0)20 8992 9302

Email：ujyc@japanatuk.com

担当：タゲ

宮原

プログラム内容

日本側、英国側高校生共通

- ウェルカムイベント
- UCL とケンブリッジ大学の教授・講師陣による特別講義多数
- UCL の教授・講師陣によるワークショップ
- UCL Grand Challenge Workshop
 - 本プログラムの主要イベントで、今世界にとって重要なテーマの一つをテーマに、日英の学生が UCL の専門家と一緒に話し合い、若者からの解決法、提言をつくり、発表をする機会を設けます。本機会を通し世界の今後についての理解を深め、将来国際社会に貢献できるような人材の育成を目指します。
- 語学研修（日本側参加者：英語、英国側参加者：日本語）
- UCL ランゲージセンターにおける講義
- 日英の高校生の文化交流
- UCL、ケンブリッジ大学キャンパスツアー
- UCL 施設訪問
- 修了式

日本側参加者向け

- 日英の交流の歴史についての講義、国際化の重要性についての講義
- 英国で活躍する著名日本人との交流会
- 英国への留学・進学方法についての説明会

日本側参加校から参加いただく教師向け

- 英国の先生による模擬授業
- 英国の教育制度・教育方法に関する講義

詳しい内容は本活動のウェブサイト（www.ucl-japan-youth-challenge.com）に順次公開予定です。

安全対策

- UCL-Japan Youth Challenge は英国イングランドの法律と習慣に準拠したプログラム内容となります。
- 2023年1月現在、英国ではマスク等の顔（口と鼻）を覆うフェイスカバリングの着用は義務ではないため、着用を参加者・引率者に強制しませんが、プログラム期間中は使い捨てマスクとアルコールジェル・消毒液を提供します。参加者は自己判断により、任意でフェイスカバリングを着用いただけます。
- プログラム期間中の病気や怪我には参加者・引率者が加入する海外旅行保険会社が手配する私立医療機関を利用し、診察には関係者が帯同します。英国ロンドン滞在中は日本語を話す医師が勤務する私立日系医療機関を利用します。
- 新型コロナウイルス感染症に感染した場合には、英国イングランドの現地医療サービス（National Health Service、NHS）を無料でご利用いただけます。NHSが手配する日本語話者の通訳を依頼することも可能です。
- 受診する医療機関の判断により、医師または医療従事者とのビデオ診療・電話診療となる場合もあります。
- 参加校確定後、UCL-Japan Youth Challenge の安全対策を最新のガイドラインに基づきご案内します。

その他

- 参加高校生には参加決定以降に予め予習・準備のための宿題が出ます。
- プログラム期間中は複数の関係者が24時間帯同します。